

# 夜間救急医療体制に関する 市民アンケート

## 【回答について】

- ・ あて名にあるご本人が回答してください。  
※ご本人の回答が困難な場合は、ご家族の方に代筆していただくなどでご回答ください。
- ・ 回答は調査票に直接ご記入ください。
- ・ 選択肢のあてはまる番号に○を付けてください。
- ・ ご記入は、鉛筆、ボールペン、万年筆のいずれでも結構です。
- ・ WEB回答する場合は、同封の「夜間救急医療体制に関する市民アンケートご協力のお願い」に記載しているURLにアクセス、もしくはQRコードを読み込みご回答ください。

## ○アンケート趣旨

夜間の診療（17時から22時）については、通常診療時間とは違い、医療体制が縮小します。そのような中、救急病院に軽症患者が多く受診することで、緊急性の高い重症患者の対応に支障をきたし、医療従事者の負担が過重となることを防ぐため、軽症患者の診療を行うための体制が必要となります。

本市では、夜間の比較的軽症な救急患者を受け入れるために、地域の病院や診療所が当番制で診療を行う「夜間当番医制」を、3つの医師会がそれぞれに実施していますが、夜間救急医療を担う人材などの医療資源に限りがあり、現在の体制を長期的に維持していくことが困難であると見込まれています。

このような中、より質が高くかつ安定的に医療提供していくための対策を検討する必要がありますと考えていますので、本市の夜間救急医療体制に関するアンケート調査にご協力ください。

## I あなた自身のことについて

### 問1

あなたの年齢を教えてください。

- |         |           |         |
|---------|-----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代   | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代   | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳代 | 8. 80歳代以上 |         |

### 問2

あなたの居住地区を教えてください。 ※括弧内の小学校区を参考にしてください。

1. 大分地区（金池、長浜、大道、春日町、西の台、八幡、神崎、南大分、豊府、城南、荏隈、津留、舞鶴、東大分、滝尾、下郡、森岡、日岡、桃園、碩田学園）
2. 明野地区（明野東、明野西、明野北）
3. 鶴崎地区（鶴崎、三佐、別保、高田、川添、明治、松岡、明治北）
4. 植田地区（宗方、植田、横瀬、横瀬西、敷戸、鴛野、寒田、東植田、田尻、賀来）
5. 大南地区（上戸次、戸次、吉野、竹中、判田）
6. 大在地区（大在、大在西）
7. 坂ノ市地区（坂ノ市、丹生、小佐井）
8. 佐賀関地区（こうざき、佐賀関）
9. 野津原地区（野津原）

## Ⅱ 夜間体調不良時の行動について

### 問3

あなた自身が、夜間に体調が悪くなったとしたら、どのような行動をとると思いますか。 ※あてはまるもの全てに○

1. 翌日まで安静に過ごす
2. 症状に合った市販薬を服用する
3. 119番に電話する
4. 医療機関に電話してから受診する
5. 医療機関に直接受診をする
6. その他 ( )

### 問4-1

あなた自身が、夜間に医療機関へ電話や受診をするとしたら、どのような医療機関にしたいと思いますか。

1. 夜間当番医
2. かかりつけ医
3. 救急病院

※救急病院→大分市医師会立アルメイダ病院、大分岡病院、天心堂へつぎ病院、大分中村病院、大分医療センター、大分三愛メディカルセンター、大分赤十字病院、永富脳神経外科病院、河野脳神経外科病院、大分県立病院、大分大学医学部附属病院

### 問4-2

その医療機関を選択する理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○

1. 信頼しているから
2. 家から近いから
3. いつでも診察してもらえるから
4. 夜間当番医だから
5. 大きい病院だから
6. 検査設備が充実しているから
7. 駐車しやすいから
8. その他 ( )









### Ⅲ 夜間医療体制について

#### 問 1 4

「日中に用事や仕事がある、夜間の方が待ち時間が短い」などの理由で夜間に受診する、いわゆる「コンビニ受診」が増加すると、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたす場合があることを知っていますか。

1. はい                      2. いいえ

#### 問 1 5

夜間において専門外の診療が困難な場合があることを知っていますか。

1. はい                      2. いいえ

#### 問 1 6

夜間は通常の診療費用と別に加算費用が掛かることを知っていますか。

1. はい                      2. いいえ

#### 問 1 7

本市では、夜間（17時から22時）の比較的軽症な救急患者を受け入れるため、地域の様々な診療科の病院や診療所が当番制で診療を行う、「夜間当番医制」を実施していることを知っていますか。

1. はい                      2. いいえ

#### 問 1 8

他都市では、夜間に比較的軽症な救急患者を受け入れるために、医師等の医療資源を集約し、日によって医療機関が変わることなく、地域の拠点施設となる「夜間急患センター」で、内科や外科などの診療を行っていることを知っていますか。

1. はい                      2. いいえ

## IV 今後の夜間医療体制について

### 問19

「夜間当番医制」と「夜間急患センター」のどちらが望ましいと思いますか。

1. 夜間当番医制
2. 夜間急患センター
3. 両方あるとよい
4. わからない

### 問20

「夜間急患センター」を設置する場合にどのようなことを望みますか。 ※あてはまるもの全てに○

1. 受診を希望する場合には必ず受け入れてくれる
2. 必要な場合には救急病院に迅速に繋いでくれる
3. 必要な場合には専門医などに繋いでくれる
4. 充実した検査体制
5. 広い駐車場やアクセスの良さ
6. その他 ( )
7. わからない

## 問 2 1

問 2 0 のような機能を備えた「夜間急患センター」を設置する場合、大分市の人口や面積を考慮して、何か所が望ましいですか。

1. 市内 1 か所
2. 市内 2 か所
3. 市内 3 か所
4. わからない

## 問 2 2

「夜間急患センター」は既存の救急病院などに設置が良いと考えますか。

新たに設置すべきと考えますか。

1. 既存の救急病院などに設置
2. 新たに設置
3. わからない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。